

いても引き続き点検を行い、計画的に修繕を進めたい。

今後とも、橋梁の経年変化による様々な損傷に起因する事故の防止や橋梁の延命化を図るうえからも、適正な維持管理に努めたい。

日本共産党

雇用対策

議員 若年者雇用対策の本市の取り組み状況と今後の課題について伺いたい。

市長 若年労働者の県外流出の要因には、厳しい雇用環境のほかに地場企業の情報を若年者が、若年者のニーズを地場企業が互いに十分把握できていないことがあり、本市では若年者雇用・定着促進事業を実施してその解消に取り組んでいる。また、様々な雇用形態で非正規雇用が増えており、正規雇用が拡大されるよう地場企業の体力づくりに有効な施策を推進していきたい。

来年度予算編成

議員 老人交通費助成事業の上限年齢枠撤廃について伺いたい。

市長 老人交通費助成事業の上限年齢枠撤廃については、これまで議会及び市民の方々から多くの要望が出され、また、本年6月議会の一般質問において、施策決定過程の透明化を図るため、今後、庁内の様々な部局の意見を集め、協議を経て最終的に判断したい旨を答弁した。

このことについて、8月に庁内の政策判断を行う都市経営会議を開催し協議を行った結果、高齢者の外出機会を支援し、社会的活動の参加を促進するとともに、介護予防を進めるという観点から、80歳という上限の年齢枠を撤廃し、助成対象者を70歳以上のすべての高齢者に拡大する方向で事務を進めることとしたところである。

公共施設整備

議員 公共施設の洋式トイレ化について伺いたい。

市長 合併7町の公共施設については、身体障害者用トイレの整備や洋式トイレへの改善が今後必要と考えている。また、公民館は高齢者の利用も多く、今後も施設の利用状況や要望などを勘案しながら順次、改修を進めていきたい。

小中学校の障害をもった児童生徒への対応については、学校からの要望をもとに障害の状況に応じてトイレの洋式化を図るなど、迅速に対応している。



香焼公民館

介護保険事業

議員 介護療養病床の見直しとその対策について伺いたい。

市長 国の医療制度改革では、一定の医療療養病床の介護保険施設等への転換を進め、介護療養病床については平成23年度末をもって廃止されることとなっており、今回の療養病床の見直しは、医療の必要性が高くない患者の社会的入院の是正を目的とし、患者の状態に応じて施設の適切な機能分担を推進することとされている。

本市としては、住み慣れた自宅や地域で安心して生活したいという高齢者の意向が尊重されるよう地域ケア体制づくりの推進に取り組みとともに、一方で、入所施設が必要な利用者にとっては、医療機関による施設の転換が円滑に行われ、状態に応じたよりよい環境のもとで介護が行われるよう、県に対し、本市の高齢者介護の状況を踏まえた適切な施設配置の誘導を働きかけていきたい。

気 走 会

株式会社長崎衛生公社

議員 株式会社長崎衛生公社の改革について伺いたい。

教育長 長崎衛生公社については、4月に庁内のプロジェクトチームを設置し抜本的な改善策を検討してきた。同公社に対して従来どおりの公費負担を続けることは不可能であることを十分認識したうえで、同公社の労使双方が改革に向けて真摯に向き合い協議することを強く求めていくとともに、市民生活に支障をきたすことがないよう改革に向けた取り組みを進めていきたい。

市民の会

長崎県南部広域水道事業

議員 長崎県南部広域水道事業からの撤退について伺いたい。

市長 長崎県南部広域水道事業は、平成14年4月に国の認可を得て進めているが、本市ではかつて見込んだような水需要の増加は見られない。しかし、近年、少雨傾向や降雨周期の変動から常時安定した水源を維持することは難しい状況であり、渇水時や災害時でも平時同様給水を行うには、長崎県南部広域水道企業団からの受水は必要と考えている。

委員会審査の主な内容

各常任委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

総務委員会

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産構成資産等基礎調査事業費負担金」平成19年度一般会計補正予算(第1号)を可決

総務費において、県が実施する「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」構成資産等基礎調査事業に対する本市負担金などが計上されていることから、世界文化遺産として登録されるために特に着目しているポイントと登録実現に向けた決意、世界遺産暫定一覧表追加資産に係る提案書に挙げられた構成資産の変更の可能性、提案書に挙げられていない他の教会に対する本市の考え方、世界遺産登録に向けた本市独自